
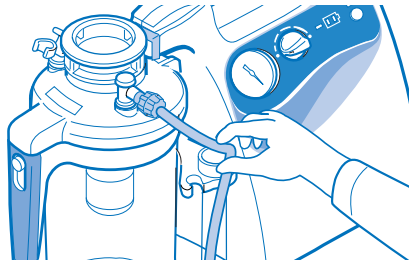


# 故障かな?と思ったら

故障かな?と思われる場合、修理を依頼される前にこの処理を行ってみてください。正常に作動する場合があります。



症状	原因	処置
ポンプが作動しない。 時々ポンプが止まる。	バッテリーが充電されていない。 または、ACアダプターまたは自動車用電源コードの使用電源が正しく取付けられていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーを充電してください。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● ACアダプターのL型プラグまたは自動車用電源コードの丸型プラグが、本体側の電源ジャックに正しく接続されていることを確認してください。</li> <li>● ACアダプターの電源コードが、コンセントにしっかりと接続されていることを確認してください。</li> <li>● 自動車用電源コードの電源プラグが、自動車用の電源ソケットにしっかりと接続されていることを確認してください。</li> <li>● 断線または断線の疑いがある場合は、販売店へご連絡ください。</li> </ul>
	内部（モーター等）の異常が考えられる。	販売店へご連絡ください。
ポンプが作動しても吸引しない。 吸引圧力が弱い。	<b>チェックポイント</b> 吸引ホースを指で折り曲げ、空気を遮断します。強弱ツマミを「強」一杯に廻し作動させたとき、吸引圧力が -70kPa程度（※）まで上がればポンプは正常です。（真空計の針が上がります） ※初期性能は-80kPaですが、ご使用の期間・頻度により性能が低下してきますので -70kPaを目安に判断してください。	
	上記のチェックで圧力が正しくないとき、以下の各ポイントを確認してください。	
	吸引ボトルのパッキングが組み込まれていない。または曲がって組み込まれている。	ボトルパッキングを正しく組み込んでください。ボトルパッキングが古くなったときは交換してください。
	フロートがフロートストッパーにくっついている。 （吸引ボトル内の吸引物が溜まり、安全機構が働いている）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 吸引物を捨ててください。</li> <li>● 本体から吸引ボトルを外して、ボトルカバーを外し、フロートをフロートストッパーと離してください。フロート、フロートガイドに吸引物等の付着が見られる場合は、分解して洗浄・乾燥のうえ元通りに取付けてください。</li> </ul>
	サブカバーが正しく組み込まれていない、または緩んでいる。	サブカバーをしっかりと組み込んでください。
サブカバーにOリングが入っていない。または曲がって組み込まれている。	Oリングを正しく組み込んでください。Oリングが古くなったときは交換してください。	
充電中に充電ランプが点灯・点滅しない。表示ランプが全て点滅する。	充電またはバッテリーの異常。	バッテリーの交換または本体内部の点検が必要になります。販売店にご連絡ください。
その他	販売店にご連絡ください。	

お問い合わせ先：